



かわはた

新院長挨拶

令和5年7月1日より院長に就任致しました渡辺浩志です。専門はリウマチ、膠原病、消化器病、内科一般です。

前任の佐久間博史院長は名誉院長に就任され、今後も当院の診療にご尽力いただくことになります。

当院は地域唯一の基幹病院であり、地域住民の医療と介護を守ることが私たちの責務です。また、当地域の少子高齢化は進み、川俣町は4月より小学校が統合され1つになりました。いま取り組んでいるワークライフバランスの充実や働きがいのある職場作りが今後も重要で、職員一人一人が持っている力を発揮し、職員一丸となって地域医療を担うことが私たちの使命と考えます。

今後も高齢化が進む地域のニーズに対応するため、また、地域住民が安心して暮らしていけるよう、関係機関とも連携しながら地域医療に貢献していきます。



院長 渡辺浩志

< 目次 >

P 1 新院長挨拶

P 2 医師コラム

～痛くない赤いオシッコに注意！～

泌尿器科部長 山中直人

P 3 第7回地域医療連携懇話会

P 4・5 令和5年度地域医療研修を終えて

大阪府済生会中津病院 研修医の先生方より

P 6 緩和ケア委員会

～施設における「看取り期」の利用者さまへのサービス提供について～

介護老人保健施設めぐみ 介護福祉士 八島健太郎

P 7 第41回済生会東北・北海道ブロック親善ソフトボール大会 in小樽

P 8 診療予定表



ホームページが新しく生まれ変わりました。
スマートフォンをお持ちの方はこちらの
QRコードよりご覧いただけます。



「痛くない」赤いオシッコに注意！！

泌尿器科部長 山中 直人

トイレでオシッコしたとき、真っ赤な尿が出たら誰でもビックリするでしょう。ただ、その後2～3回で赤いオシッコがでなくなると、「大丈夫だ」と思って放っておく方が結構いらっしゃいます。

これは大変に危険です！！

1回でも、目で見えてわかる赤いオシッコ、いわゆる「肉眼的血尿」が出たら、痛みがなくても（むしろ、痛みがない時の方が恐ろしい病気が隠れているかもしれません）

早めに泌尿器科を受診して下さい。

よく、「最近疲れていたから」とか「ストレスがあったから」という理由で血尿になったという方がいらっしゃいますが、通常、疲れやストレスだけでは血尿が出ることはありません。

血尿の原因には、良性の病気（例えば膀胱炎とか尿管結石とか）の場合もありますが、中には「腎臓がん」や「膀胱がん」などの悪性の病気の可能性もあるのです。

特に、高齢の男性に多いのですが痛みを伴わない肉眼的血尿を長年放っておいて、泌尿器科を受診した時には既にかなり進行した「膀胱がん」だったと言う患者様を何人か診たことがあります。

くどいようですが、たとえ1回でも肉眼的血尿が出た時、特に「痛みを伴わない」血尿が出た時には泌尿器科外来を早めに受診して下さい。

ご家族に御高齢の方がいる場合は、時々おしっこの状態をチェックしてあげるのもいいかと思います。

「今まで赤いオシッコ出たときない？」とか聞いてみてください。たとえば、「半年前2～3回真っ赤なオシッコが出たけど痛みもなくてその後治まったから大丈夫」などというおじいちゃんやおばあちゃんがいたら、何とか説得して泌尿器科を受診させてください。

早めに対応すれば治る病気もたくさんあります。

たかが血尿、されど血尿です。

よろしく願いいたします。



4年ぶり開催

第7回済生会川俣病院地域医療連携懇話会

地域連携室 副主任 伊藤和代



7月25日（火）、近隣の医療、介護、福祉関係者の皆さま方との「顔の見える連携」を構築する為、第7回「済生会川俣病院地域医療連携懇話会」を4年ぶりに集合形式にて開催し、55名の方に参加頂きました。

当院数田良宏内科部長が司会を務め、7月1日に新たに就任した渡辺浩志新院長の挨拶、川俣町医師会長 鈴木秀先生よりご挨拶を頂き会がスタートしました。

第一部は、泌尿器科部長の山中直人医師が「泌尿器科の少し役に立つ？お話」と題して泌尿器にまつわるメカニズムと治療法について講演しました。

第二部として、緩和ケア認定看護師の菅野ひとみが「地域におけるこれからの緩和ケア～認定看護師の取り組み～」として、多職種の方々が緩和ケアについてどのようなイメージがあるか参加者に質問しながら進行する参加形式にて行いました。また、主任診療放射線技師 安齋洋之が「地域医療のために診療放射線技師が果たす役割」と題し、実際の症例を交えながら当院で行える放射線検査や遠隔読影について紹介しました。

最後に各施設代表者の方から近況についてご報告いただき、佐久間博史名誉院長の挨拶にて閉会しました。

今後も、このような機会を通じて地域連携を大切にしていきたいと考えています。

令和5年度地域医療研修を終えて

ー 大阪府済生会中津病院 研修医の先生方より ー

令和5年度、地域医療を学ぶために中津病院より研修医3名が来院されました。各先生方から3週間の研修を終了しての感想をいただきましたのでご紹介します。

今回の研修では中津病院では学ぶことの出来ないことを数多く学ぶ事が出来ました。普段中津病院で行っている研修では、病院内で救急患者の診察や入院患者の診察が主でしたが、今回の研修では往診や施設での診察などより患者さんの日常に近い場面での診療を経験することが出来ました。そのような場面では、多職種が連携して少しでも患者さんが日常生活を不便なく送ることが出来るように介入しており、患者さんの生活に近い医療の提供が行われていることを学びました。例えば往診と訪問看護で同じお宅を訪問させていただいた際には医師は患者さんが飲みやすいように処方を行い、看護師は患者さんが飲みやすい環境を整えるといった工夫が行われていました。



研修医 清水優人

一方で、緩和ケア委員会では在宅での看取りについて議論している際には地域医療が抱えている課題についても学ぶ事ができました。在宅での看取りを希望される患者さんが多い一方で、医師や看護師の体制の都合ですべてを実現するのが難しいという現状があることを知りました。

オンラインでの看取りの取り組みもあるが様々な課題があり導入には現実味がないとのことで様々な解決策を話し合われていたことは非常に印象に残っています。

1か月という短い期間でしたが、今まで経験したことのない地域医療を肌で感じる事が出来てとても新鮮で刺激的な研修を行うことが出来ました。最後に済生会川俣病院の先生方、コメディカルの皆様、各部署の皆様にお礼を述べさせていただき地域医療の感想とさせていただきます。

済生会川俣病院での研修は、スタッフの方々のお気遣いのおかげで実に多くのことを学ぶことが出来ました。

外来診療では先生の診察に付いて先生方が親身に患者さんと話しながら、困っていることをさりげなく聞き出す方法を学んだり、技師さんや看護師さんから様々な検査方法を学んだりしました。技師さんにはエコー練習に付き合っていただいたのも良い思い出です。訪問診療では先生や看護師さん、理学療法士さんと一緒に実際に患者さんのお宅にお邪魔しました。患者さんや患者さんのご家族とお話しして、大学病院や市中病院などの急性期病院を退院した後も日常生活に問題を抱えている患者さんや、高齢者かつ独居の方で通院が困難な患者さんが多いことを痛感し、訪問診療の大切を身に染みて感じました。またバイタルサインの測定やワクチン接種まで行わせていただき、技術的にもかなり成長できたと思います。



研修医 増井伸祥

私の志望科が整形外科であったため、整形外科の外来も見学させて頂き、身体診察の取り方や画像所見の見方や関節内注射の方法を学びました。また関節リウマチ、骨粗鬆症の薬剤量調整などの内科的治療の様子も見ることができ、大変有意義な時間となりました。

今回の地域研修において、特に多職種連携の重要性を学ぶことが出来ました。医師だけでなく看護師さんや検査技師さん、理学療法士さん、事務の方など様々な職種の方々と触れ合えたことはチーム医療を実行していく上で大きな意味があると感じ、また、地域医療の果たす役割についても深く考えるきっかけとなりました。

済生会川俣病院での研修は3週間という短い期間でしたが、気さくで優しい先生方やコメディカルの方、事務の方々に囲まれ、患者さんやそのご家族も快く研修を受け入れて下さり、楽しくもありまた実りある研修となり、今後の医師人生における大きな財産となったことを改めて感謝申し上げます。

今回済生会川俣病院にて研修をさせて頂き、訪問診療や訪問看護の同行、また震災の影響によって出来た食品モニタステーションの見学など日々の研修では経験出来ないことを多く経験出来ました。

その中でも訪問看護の同行は大変印象的でした。訪問看護に同行させて頂く前に患者さんについて教えて頂いたのですが、担当の看護師さんは患者さんの身体的だけでなく精神的な面や生活状況なども把握されており、また実際の訪問看護の現場においても患者さんと御家族とコミュニケーションをとり生活状況や家族のサポートを考慮しながら必要な医療や看護を提案しておられる姿を拝見しこのような看護師の方を始めコメディカルの方々の大変な努力があるからこそ地域医療は成り立っているのだと強く感じました。日々の研修では看護やリハビリ、退院後のケアといったことを学ぶ機会があまりなかったのですが、今回訪問診療や訪問看護への同行、施設の往診見学を通じて座学では学んでいた介護制度や医療サービスについて実践的に学ぶことが出来、実際の現場を拝見することでのような方にどのようなサービスが必要かを具体的にイメージすることが出来、大変勉強になりました。

このような済生会川俣病院での3週間の研修では、普段の研修生活では知り得なかった知識や経験を得ただけでなく地域医療の現状や課題を目の当たりにし、地域医療におけるチーム医療の重要性を学ぶことができ、大変有意義な研修となりました。



研修医 木戸文華



山木屋診療所



訪問診療(ワクチン接種)



透析室回診



訪問看護



R5.8 褥瘡ラウンド風景



眼科手術

研修医の先生方、お疲れさまでした。 5

施設における「看取り期」の 利用者さまへのサービス提供について

介護老人保健施設めぐみ 介護福祉士 八島健太郎

当院は「済生会川俣地域ケアセンター」として、医療・福祉6施設5事業所を展開することで地域の医療と福祉の中心となり、地域の方々の安心と健康を守るために日々取り組んでいます。緩和ケア委員会においても、看取り期のケアについて、それら施設が連携を密にし、情報交換することでより良いケアを提供できるよう日々考え実践しています。本号では、介護老人保健施設の「看取り期」のケアにおける実践事例について紹介致します。

当事業所は、「特別養護老人ホームはなづか」「介護老人保健施設めぐみ」「通所リハビリテーションめぐみ」の3事業所で構成された複合施設です。

特別養護老人ホームはなづか、介護老人保健施設めぐみを中心に、看取り期の利用者の幅広いニーズに応えられるように日々努めており、看取り介護のサービスを提供させていただいています。

看取り介護とは、生活支援を基本として、対象の利用者様がその人らしく尊厳を保ち生活できるよう、生活の延長線上の支援させていただく事を指します。

看取り介護として提供する主な支援としては、

- ①利用者様の身体的ケア・精神的ケア
- ②家族様へのサポート

があげられます。

対象の利用者様が出来る限り安らかに過ごせる環境を整え、身体的苦痛や不快感がある場合は、それらを和らげる事が出来るように努めます。また利用者様の体調変化にすぐに気づく事が出来るように配慮しています。

利用者様の気持ちに寄り添いながら、利用者様が喜ぶような介護を心がけ、自分らしい最期を迎えられるように支援する事を目標として、日々のサービスを提供させていただいています。

現在、当事業所では看取りに関しての施設内研修会を開催し、職員個々のレベルを上げ、より質が高く組織的にサービスを提供できるように事業所全体で取り組んでいます。



第41回済生会東北・北海道ブロック 親善ソフトボール大会 in小樽



第41回済生会東北・北海道ブロック親善ソフトボール大会は7月2日（日）北海道済生会支部の主催により倶知安町きたろくグラウンドで開催され、当センターからは総勢12名の選手が出場しました。

今大会は、出場全8チームをAブロック4チーム、Bブロック4チームにそれぞれ分けて行われ、Aチームの優勝チームが全国大会へ進出し、Aブロック4位のチームとBブロックの優勝チームが来年度の大会から入れ替わる形式となっております。当センターはAブロックに出場しました。

当日は各コートで熱戦が繰り広げられ、Aブロック残留を目指し奮戦しました。1点を争う熾烈な戦いとなりましたが、結果は3戦全敗と、惜しくもAブロック残留とはなりませんでした。

個人成績として、医事課 黒江美桜さんが優秀選手賞を表彰されました。

来年度の大会は、岩手県開催ということでBブロック優勝・Aブロック返り咲きを目標に精進してまいりますので、引き続き応援よろしくお願いいたします。

【個人成績】

優秀選手賞

黒江美桜（投手）



Aブロック（リーグ戦）

	小樽病院A	山形県済生会A	福島総合病院	川俣地域 ケアセンターA	勝敗	順位
小樽病院A		×	○	○	2勝1敗	2位
		1-9	7-6	7-3		
山形県済生会A	○		○	○	3勝0敗	1位
	9-1		15-1	6-0		
福島総合病院	×	×		○	1勝2敗	3位
	6-7	1-15		6-5		
川俣地域ケアセンターA	×	×	×		0勝3敗	4位
	3-7	0-6	5-6			

外来診療予定表

令和5年11月

			受付時間	月	火	水	木	金	土
内科	午前	一診	8:45~11:30	佐々木俊教	数田 良宏	佐々木俊教	大庭 敬	大庭 敬	大庭 敬 佐々木俊教 数田 良宏 (交代制)
		二診	8:45~11:30	角田理恵子	君島 弘子	渡辺 浩志	君島 弘子	第1・3・5 佐久間博史 第2・4君島弘子	佐久間博史 渡辺 浩志 (交代制)
		三診	8:45~11:30					福島医大 大平 弘正 (不定期 予約)	
		循環器	8:45~11:30		福島医大				済生会福島 第2
		リハビリ	第1 8:45~11:30						福島医大
			第2~5 8:45~11:30					福島医大	
	午後	一診	13:00~15:30	渡辺 浩志	福島医大	数田 良宏	佐久間博史	君島 弘子	
		リハビリ	13:00~15:30					福島医大	
外科	午前		8:45~11:30		福島医大	芳賀 志郎		済生会福島	
	午後		13:00~16:00		福島医大				
整形外科	午前		8:45~11:00	福島医大		福島医大 第1・3・5			福島医大
泌尿科	午前		8:45~11:30		山中 直人 (予約)				
	午後		13:00~16:00	山中 直人		山中 直人 (予約)		山中 直人	
眼科	午前		8:45~10:30				福島医大 (予約)		福島医大 第4 (予約)
	午後		13:00~15:00			福島医大 (予約)			
皮膚科	午後		13:00~15:30		福島医大 (予約)				

済生会川俣地域ケアセンター



済生会川俣病院

電話：024-566-2323

ホームページ

<http://www.kawamata.saiseikai.or.jp/>

済生会春日診療所

電話 024-566-2707

川俣町国民健康保険山木屋診療所（指定管理）

電話 024-563-2024

介護老人保健施設 めがみ

電話 024-566-2661

特別養護老人ホーム はなづか

電話 024-566-2661

養護老人ホーム 済生会川俣光風園

電話 024-566-3221

済生会川俣光風園訪問介護事業所

電話 024-538-0035

済生会川俣訪問看護ステーション

電話 024-566-2323

済生会かわまた居宅介護支援事業所

電話 024-566-2657

川俣町地域包括支援センター

電話 024-538-2600

済生会川俣病院指定訪問リハビリテーション

電話 024-566-2323